

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 6 月 30 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社 百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	平成27年5月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年6月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「生き生きとした毎日を」を目標にし、利用者の方々の認知レベル、身体レベルをいかに維持していくかを日々頭の中に置き、出来ないことをどう支援したら出来るのか等を考え、特に昔から好きだった花を育てたり、料理、縫い物、絵や字を描くなどをクラブ活動として実施している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>平成25年8月開設のグループホームである。事業所は住宅地の中に位置し、近隣にはスーパー、小学校や保育園など、生活感のある周辺環境となっている。また、近隣には同法人のグループホームやサービスつき高齢者専用賃貸住宅などがあり、職員同士の協力体制が敷かれている。</p> <p>「生き生きとした毎日を」を目標に、クラブ活動や活発なコミュニケーションを中心とした活動の中で、利用者の日常生活動作や認知機能を維持するための様々な取り組みがなされているほか、認知症の研修など、職員の研修も活発に行われており、認知症による周辺症状も徐々に落ち着くなど、具体的な成果にも現れている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念「福祉は人 人は心」を全職員が共有し、目配りを意識し認知症の方々の支援をしている。	基本理念の浸透のために、新人研修や月一回の職員ミーティングなどの機会を通じ、理念の確認を行っている。理念である「福祉は人 人は心」を具現化するために、利用者への目配りを意識しながら、認知症ケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事である盆踊り大会、秋祭り、町内運動会などに参加させて頂いたり地域の保育園児や小学生との交流を深めている。	盆踊り、秋祭り、町内運動会などの地域行事には必ず参加しているほか、近隣住人にも日頃から挨拶をするようにしている。また、保育園や小学校の行事の受け入れや、民生委員の会合にも出席し、事業所の紹介を行うことで地域との付き合いを継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として介護保険とはなにか、認知症介護についての相談やアドバイスをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の町内会長、民生委員、有識者の方々及び大州、段原地域包括支援センター、利用者家族、利用者本人を交えて話し合いをし地域の方々の意見を伺い、サービスの質の向上に務めている。	運営推進会議には、本人や家族のほか、地域の町内会長、民生委員や地域包括支援センター、認知症推進委員なども参加している。その結果、防災や災害時の対応、地域との協力方法など、幅広い意見交換ができるようになってきている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	生活保護を受けている方でも安心して生活が出来るよう、常に市町担当者と連携をとりながら、サービス向上に務めている。	行政との連携が必要な方についても、市町担当者和との密な情報交換によって、事業所の実績やサービスの取組みを理解してもらえるように、日頃から情報交換がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全体研修をし身体拘束とはどういうことかを勉強している。グループホームでは安全のために施錠はあるが職員の見守りにおいて常に施錠は解除し職員と自由に出入りできるようにしている。</p>	<p>身体拘束防止のための研修会を実施し、職員全員が受講できるような日程を組んでいる。研修においては、身体拘束防止の徹底がなされ、現在、施設内において身体拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>なだの郷全体職員を対象に研修を行っている。グループホーム百樹でも、職員同士のかばい合いをせず、気になることがあればすぐ管理者に報告をし、改善している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>認知症という病気を患っている利用者や寄り添って生活支援をしていくうえで、差別をせず尊厳をもつことの研修を実施している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関しては、管理者が契約書、重要事項説明書を読みながら説明している。質問はその度対応し、理解納得をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を年2回開く予定ではあったが、近年家族が集まりにくい為、毎月行事予定をお知らせし、足を運んでいただきその時に声をかけ意見を聞いたり、又面会時には必ず要望はないか問いかけている。</p>	<p>利用者の意向や意見を聞き取るため、利用者の輪の中に入り、積極的に傾聴し、意見を聞いているほか、クラブ活動などのアクティビティにおいて、利用者のやりたいことを実現させている。また、家族面会時においても、家族からの意見聴取を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務改善委員会のメンバーが他職員の意見、質問をとりまとめ、管理者と話をしたり、施設長が出席する職員ミーティングもある。</p>	<p>毎月の職員会議や、社長の参加する毎日の朝礼など、日頃から職員意見の聞き取りを行うようになされている。社長と職員との話し合いによって、事業所脇の水路の清掃を実施し、近隣住民に喜ばれるなどの成果が見られている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>半年毎に自己評価を行い自身の目標に向かい頑張っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員が希望する施設外研修には参加してもらいその内容を発表する機会をつくり自信をつけてもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他事業所の管理者やケアマネージャーが集まりいろいろな情報を交換している。そこには新たな発見もありサービスの質の向上につながっている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者が安心して話ができるよう、担当を決めてしっかりコミュニケーションがとれるようにしている。少しずつ他職員とも話ができるように段階を踏んで安心してもらえるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>認知症の方を介護していたご家族が、本人にどんな希望要望を持っているかしっかり伺って、安心して任せて頂ける場になっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入所者の情報を職員で検討し、目標を設定している。その目標がご家族の希望と一致するよう、必要としているサービスを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>認知症の人と寄り添うことが大切と認識し、その人のペースを大切に穏やかに安心して暮らしていただけるようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>契約時にご家族には「介護は施設だけでは出来ません。職員、家族、施設が一緒にしていくものです」と話し、理解を得る様にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>近所の公園、散歩コース等であいさつを交わしたり、面会者は再会出来る様な声かけをしている。</p>	<p>家族の協力を得て、墓参りなどの外出のための支援がなされているほか、日頃から近所の散歩や、あいさつ、親しい近所の方の庭の花を見に行くなど、馴染みの関係を近隣で構築しようという試みがなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味を通じて同じ空間を共有してもらったり、トラブルになりそうな時は職員が素早くキャッチし話題を変えたりして和やかな雰囲気になるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	やむを得ず転居された方とは折りに触れ、はがきを出したり、近くに行った時は顔を出したりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	両ユニットの一人一人に職員は来た時と帰るときは挨拶をし、いつもと違う反応をしたと感じたときは、全職員に知らせ、その人をしっかりみて何か話したいことなどをキャッチしている。	日頃の見守りの中において、利用者の思いや意向を把握するような取り組みがなされているほか、ゲームをしたいという利用者の意向を踏まえ、職員による手作りゲームを考え、利用者を楽しんでもらうなど、本人の意向を踏まえたケアの実践に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前の情報を大切にしてしっかり頭に入れ、会話の中に昔を思い出してもらったりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	認知レベルの進行を見ながら、身体レベルにも無理のないよう、異常を発見できるよう職員の資質の向上につとめている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者が中心となりアセスメントをし、カンファレンスを聞く（本人も参加）。ケアプランを作成する（ナース、ドクターにも話を聞く）カンファレンスに家族の参加を促しているが、困難なことが多く、電話で話す人もいる。</p>	<p>担当者はケアプランの控えを持ち、常にプランを把握しながら日々の介護に従事しているほか、医療依存度の高い利用者には、医師や看護師も介護計画の話し合いへの参加がある。その結果、オムツ使用量の低下などの成果が現れている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>気づき、大切なこと、いつもと違う事等個別の経過記録に記入している。情報の共有はケアプランをすぐに見られるようにしてある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の情報が変わったらアセスメントをして、本当のニーズが何かを検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域との関わりは大切にし、施設内に閉じこもらず買い物等にも一緒に行き社会性を失わないようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携をしており、月2回の往診、月4回の訪問看護がある。職員はその人の変化、気づきに敏感になり、ドクターに報告をしている。</p>	<p>利用者の急変時には、すぐに看護師が駆けつけられるような体制になっているほか、協力医や皮膚科の往診なども受けることができるほか、認知症に理解のある歯科への受診も支援している。また、入居前の主治医を希望する場合も、家族の対応で受診を継続することができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	グループホーム等に准看護職員が勤務しているので、介護職員はもとより、看護職員も利用者の変化に敏感である。変化を訪問看護に連絡し、又ドクターに報告をし健康管理をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	今の健康状態で何が必要か本人家族と医師が話をし家族（本人）の意向に添えるよう対応している。病院の相談員とも連絡はうまくいっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	福祉ターミナルケアで最期まで温かいケアを行っている。本人、家族の気持ちを十分に理解し、説明をしながら他職種とも連携をとりながら看取りケアをしている。	利用開始時に終末期の意向を聞き、実際に重度化した場合は、医師と家族とで話し合いをし、最期まで施設内で過ごすことができる。実際に看取り事例も豊富であり、終末期に向けた支援の実践がなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日赤より、救急法の研修を受けている。職員も日頃何事もあわてないで対応できるよう指導してしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防署の方にきていただき危険予防の講習をうけている。災害時の対応の訓練をしている。又、地域にも協力のお願いを地域推進会議等でしている。	冬季と夏季、年2回避難訓練を行い、消防署の指導のもとで行われているほか、設備の点検や職員訓練もなされている。また、運営推進会議にて地域の協力依頼を継続的に行っている。	隣接する同法人の他事業所とも役割分担が必要であるが、地域との災害時の協力体制を構築するために、例えば防災協定の締結など、何らかの取り決めを行うことで、よりいっそう地域とのつながりを深められることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であることを常に念頭に置き、日常生活支援の中で特に排泄に関して大声で「トイレにいきましょう」などと言わないで、そっとお連れする様心掛けています。	排泄介助においても、声かけを工夫し、利用者の尊厳を損ねないように注意が払われているほか、入浴時においても、脱衣室に次の利用者が待機することのないように配慮がなされるなど、人格の尊重とプライバシーの確保がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉にならない思い等も汲み取れるよう、又思いを表に出せるようコミュニケーションをとっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	認知症の方が生活しているグループホームであるが、本人のペースで出来るように合わせ支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人がそれぞれの好みを持っており、髪型にしてもそれぞれ希望を活かし、カットしたりカラーでまいたりしている。職員はそのお手伝いをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備片付け等で、できる事を手伝ってもらっている。又、クラブ活動のおふくろの会メンバーが中心となり、カレーやお寿司を作っている。	クラブ活動の「おふくろの会」の利用者が中心となって、トレイに海苔を配る、机拭きなど、できる範囲で行ってもらっているほか、利用者の好みをメニューに反映させるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>嚥下状態や摂取量なども観察し，水分の摂取量が少ないと熱中症や便秘になる事を話したりして，とってもらっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>本人が出来るところまでしてもらい，できない部分は職員がしている。又，口腔衛生の研修もしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>チェック表をつけ一人ひとりの排泄パターンの把握につとめ，トイレ誘導の必要な方も失禁がないようにつとめている。</p>	<p>排泄パターンを把握し，オムツの使用量を減らしているほか，ポータブルトイレをなるべく使用せず，トイレでの排泄を促すなど，排泄の自立に向けた支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分をしっかりととり，腸を動かす運動，散歩などにつとめている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は週2回と決めてはいるが，必要があればいつでも入浴が出来るようにしている。</p>	<p>入浴日は週2回と決められているものの，臨時で入りたいという希望があれば入浴できるような配慮がなされている。夜間入浴は行われていないが，失禁時の対応などで，浴室を随時使用するなど，臨機応変に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>21時が消灯ではあるが、まだ話がしたい方は小さな声で眠たくなるまでリビングで話されている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>何の薬を飲んでいるのか質問する方へは、一つ一つ丁寧に伝えている。薬の管理は施設であるが、飲み方はそれぞれ違う。職員は飲んだかどうかの確認をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>役割をしっかりとし、できる事の喜びを持っていただいたりレクの内容を少しずつ変えたりしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人の希望が出たら家族に伝え、外出の機会を作っている。施設内に閉じこもらず、行きたいと思っているところも把握したり、選挙時の投票にも行っている。</p>	<p>日々の散歩のほか、利用者の希望により、外出を行いたい場合、家族の対応にて外出ができるように支援がなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個々の希望に合わせ、柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>いつまでも家族、友人との縁が切れないよう、毎年7月の文月に身近な人へ手紙を書くようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関や室内に季節感を出すよう、利用者と一緒にいろいろ作り、又トイレ等は清潔に気持ちよく使用できるよう、掃除をきちんとしている。</p>	<p>環境整備委員会を設け、飾り付けの工夫をこらし、楽しみながら本格的な飾り付けがなされている。また、トイレなど、日常生活空間の清掃も行き届いているなど、居心地の良い共有空間づくりに努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者同士同じものが出来るようテーブルの並べ方を考えたり、好きなテレビ番組がゆっくり見られるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>それぞれの居室は、自分で好きなように飾り付けをしてもらい、落ち着いて休めるよう工夫している。</p>	<p>居室には、ベッドと引き出しは施設の備品が置かれている他は、利用者の馴染みの物を持ち込むことができ、落ち着いて過ごしてもらえるような工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>危険を予測し、環境を整え出来ないところはどうしたら出来るかを考えて支援し、少しでも自立した生活が長く送れるよう努力している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 平成27年7月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	チームで作る介護計画 先生、ナースの参加はあるが家族が来れない	介護職、看護職、本人、家族が揃ってカンファレンスをする	家族にいつなら来所していただけるかを聞く (2～3日項目をあげる)	1年
2	13	災害対策 防災協定	地域と一体となった防災訓練をしていく	地域推進会議でアピールし実現に向けていく	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。